

第 140 回 GIST セミナー

「OpenAIRE Graph :

オープンデータによるリサーチ・インテリジェンスの高度化」



講演者 :

Andrea Mannocci 博士

(CNR-ISTI 研究員)

◆ 日時

2026 年 3 月 12 日 (木) 18:30-20:00 (開場 18:00)

◆ 会場

政策研究大学院大学 (GRIPS) 4 階 4A 研究室 (対面/オンライン開催)

〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1

アクセス : <https://www.grips.ac.jp/jp/about/access/>

◆ 主催

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策プログラム (GIST)

◆ 言語

英語 (通訳なし)

◆ 講演概要

本講演では、科学計量学、科学技術政策研究、リサーチ・インテリジェンスといった領域における研究を支えるために設計された大規模オープン学術ナレッジグラフ OpenAIRE Graph を紹介する。まず、OpenAIRE の概要と OpenAIRE Graph の開発の経緯を説明し、データモデル、データ集約（アグリゲーション）のワークフロー、オープンサイエンス原則を重視した設計・運用方針といった特徴を概観する。OpenAIRE Graph は、論文、研究データ、ソフトウェア等の研究成果に加え、著者、研究機関、研究プロジェクト、資金情報などを、明示的なセマンティック関係によって相互に結び付けた、構造化され意味付けされたメタデータを提供する。この統合的な構造により、研究活動の動態分析、研究資金の流れの可視化、共同研究ネットワークの把握、学術的インパクトの評価、さらにはオープンサイエンスの進展状況のモニタリングといった高度な分析が可能となる。最後に、OpenAIRE Graph を活用した具体的な実践事例および分析例を紹介し、研究評価、研究モニタリング、戦略的意思決定を支える オープンな研究情報基盤 としての役割を示す。

◆ 講演者（Andrea Mannocci）略歴

CNR-ISTI（イタリア国立研究評議会 情報科学技術研究所）の InfraScience 研究室に所属。EU プロジェクト「OpenAIRE Nexus」に参画し、OpenAIRE Graph の開発と分析に焦点を当てた研究に取り組んでいる。科学計量学とオープンサイエンス実践の接点に位置する研究に関心を持つ。ピサ大学で情報工学の博士号を取得。現職以前は、英国ミルトンキーンズにあるオープン大学知識メディア研究所（KMI）で研究員を務め、SKM3 研究チーム（学術知識モデリング・マイニング・センスメイキング）に参画。学術ビッグデータと研究分析へのデータサイエンス技術の応用を専門としてきた。

◆ モデレータ（沼尻 保奈美）略歴

京都大学附属図書館研究開発室助教（オープンサイエンス研究担当）。政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策プログラムにて博士（公共政策分析）を取得。専門は、オープンデータ政策およびオープンデータ慣行の実証分析。特に、OpenAlex、OpenAIRE 等のオープン研究情報・データ基盤を活用し、オープンデータの利用実態やデータ引用の動向を分析するとともに、オープンデータが研究者の研究活動や知識生産に与える影響を実証的に検証している。

◆ プログラム

18:30-18:40 開会挨拶および概要説明（沼尻 保奈美）

18:40-19:40 講演（Andrea Mannocci 氏）

19:40-20:00 質疑応答・総合討論

◆ 注意事項

本セミナーは、対面およびオンラインのハイブリッド形式で開催されます。オンラインで参加される方には、セミナー前日までに Zoom の接続情報を電子メールにてお送りします。

◆ 参加登録

2026年3月10日（火）17:00までに以下の登録フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/VtLbnMq25JSGqiC16>

※会場定員の都合により、現地参加は先着30名までとさせていただきます。

フォームにアクセスできない場合は、GIST事務局（gist-ml@grips.ac.jp）までメールにてお申し込みください。

その際、以下の情報を明記してください。

1. 氏名
2. 所属機関
3. 職名
4. メールアドレス